**資料６**

# 明石市高齢者いきいき福祉計画及び第７期介護保険事業計画の実施状況

| 施策 | | | 取組内容 | 進捗状況 |
|---|---|---|---|---|
| | 施策の方向性 | | | |
| | No. | 主な取組み | | |

※進捗状況　○：予定通り進んでいる
△：進んでいるが、不十分である
×：進んでいない

## １．地域ネットワークの充実と社会参加の推進

### （１）地域包括支援センターの機能強化

**1　多機関の協働による包括的支援体制の構築**　［進捗状況：○］

○各地域総合支援センターに総合相談支援員を配置し、次の取組みを行っている。
(1)相談者等に対する支援の実施　(2)相談支援包括化ネットワークの構築　(3)相談支援包括化推進会議の開催（月１回）

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 世帯の複合課題事例等へ対応した件数（件） | 422 | 170 | 280 |

**2　総合相談**　［進捗状況：○］

○地域総合支援センターに委託し、地域の高齢者に対し、次の総合相談を実施している。
(1)地域におけるネットワーク構築　(2)相談支援

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 相談件数（件） | 29,307 | 31,694 | 32,000 |

**3　権利擁護**　［進捗状況：○］

○地域総合支援センターに委託し、権利侵害を受けているなどの高齢者に対し、次のような権利擁護を実施している。
(1)普及啓発　(2)高齢者虐待への対応　(3)消費者被害への対応　(4)成年後見制度の利用支援　(5)認知症高齢者等への支援

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 相談件数（件） | 3,310 | 2,995 | 3,300 |

**4　包括的･継続的ケアマネジメント支援**　［進捗状況：○］

○地域総合支援センターに委託し、次のような包括的・継続的ケアマネジメントを実施している。
(1)包括的・継続的なケアマネジメント体制の構築　(2)介護支援専門員のネットワークの活用　(3)介護支援専門員への支援

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 相談件数（件） | 5,089 | 5,439 | 5,500 |

**5　介護予防ケアマネジメント事業費の支給**　［進捗状況：△］

○介護支援専門員から要支援者等に対して、介護予防等を目的として適正なサービスを提供できるよう支援する。
○計画値から乖離した要因は、2018 年(平成 30 年)４月より総合事業が施行されたなかで、介護予防サービスとの併用が多く、介護予防支援費に含まれたためと考えられる。

| | | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|---|
| 延利用件数（件） | 目標 | 30,086 | 31,590 | 33,170 |
| | 実績 | 21,410 | 20,480 | 20,000 |

**6　地域総合支援センター運営協議会**　［進捗状況：○］

○地域総合支援センター運営協議会において、次の内容について協議を行う。(委員は学識経験者・保健医療関係者・福祉関係者・介護保険施設等関係者・市民公募 11 名で構成)
(1)地域総合支援センターの設置等に関すること　(2)地域総合支援センターの運営及び評価に関すること　(3)地域における多機関及び多職種のネットワーク化の推進に関すること

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 運営協議会開催回数（回） | 1 | 2 | 2 |

### （２）介護予防と自立支援の推進

**7　訪問型サービス費の支給**　［進捗状況：○］

○要支援者・事業対象者に対し、指定事業所による訪問型サービス（予防専門訪問型サービス、生活援助訪問型サービス）を提供し、生活支援等を行っている。
○生活援助訪問型サービスを委託により実施する。
○生活援助訪問型サービスの担い手を確保するため、従事者養成研修を開催している。

| | | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|---|
| 利用件数（件） | 目標 | 22,954 | 23,413 | 23,881 |
| | 実績 | 22,875 | 21,580 | 21,360 |
| 生活援助訪問型サービス利用件数（件） | | 408 | 830 | 1,160 |
| 従事者養成研修開催回数（回） | | 2 | 2 | 2 |

<table>
<tr><td>8</td><td>通所型サービス費の支給</td><td>○要支援者・事業対象者に対し、指定事業所による通所型サービス（予防専門通所型サービス）を提供し、生活支援等を行っている。<br>○「再見！生活プログラム」（訪問と通所を組み合わせた短期集中予防サービス）を委託により実施している。<br>○「再見！生活プログラム」については、引き続きサービス終了後の受け皿の確保を図りつつ、サービスの内容や効果の周知、ケアマネジメント力の強化に努める必要がある。
<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>2018 実績</th><th>2019 実績</th><th>2020 見込</th></tr>
<tr><td rowspan="2">利用件数（件）</td><td>目標</td><td>24,702</td><td>26,629</td><td>28,706</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>24,476</td><td>24,951</td><td>23,500</td></tr>
<tr><td colspan="2">再見！生活プログラム利用者数（名）</td><td>6</td><td>9</td><td>12</td></tr>
</table></td><td>△</td></tr>
<tr><td>9</td><td>介護予防の把握</td><td>○70 歳以上 85 歳以下の人（要介護認定者等を除く。）を対象に介護予防のための基本チェックを送付することを通じて、介護予防の取組を必要とする高齢者を把握し、介護予防事業への参加につなげている。
<table>
<tr><th></th><th>2018 実績</th><th>2019 実績</th><th>2020 見込</th></tr>
<tr><td>介護予防のための基本チェック送付数（件）</td><td>13,045</td><td>34,915</td><td>18,500</td></tr>
</table></td><td>○</td></tr>
<tr><td>10</td><td>介護予防の普及啓発</td><td>○介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するため、運動や栄養、口腔等に係る介護予防教室を開催するとともに、介護予防に資する基本的な知識を普及啓発するためのパンフレット等の作成・配布を行っている。
<table>
<tr><th></th><th>2018 実績</th><th>2019 実績</th><th>2020 見込</th></tr>
<tr><td>介護予防教室開催回数（回）</td><td>100</td><td>90</td><td>20</td></tr>
</table></td><td>○</td></tr>
<tr><td>11</td><td>自主グループ活動の支援</td><td>○介護予防活動を目的に自主活動を行っているグループ（自主グループ）の育成支援や継続支援を行うため、市の健康運動指導士等を派遣し、育成支援は１グループ４・５回、継続支援は１グループ年２回程度の指導を行っている。<br>○住民運営の通いの場へのリハビリテーション専門職の関与を推進するため、自主グループに対し、リハビリテーション専門職を派遣することにより、住民運営の通いの場等を充実させ、地域における介護予防等の取組の機能強化を図っている。
<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>2018 実績</th><th>2019 実績</th><th>2020 見込</th></tr>
<tr><td rowspan="2">自主グループ数（グループ）</td><td>目標</td><td>100</td><td>120</td><td>140</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>109</td><td>121</td><td>120</td></tr>
</table></td><td>○</td></tr>
<tr><td>12</td><td>シニア活動の応援</td><td>○高齢者の閉じこもりや地域からの孤立を防止するとともに、高齢者同士の地域の支え合い体制を構築する目的で高齢者が自主的に運営し、高齢者の居場所や活動の拠点として、健康づくりや生きがいづくり、地域貢献活動等の活動の場を提供する取組に対し、その経費の一部を補助している。
<table>
<tr><th></th><th>2018 実績</th><th>2019 実績</th><th>2020 見込</th></tr>
<tr><td>ふれあいの居場所（箇所）</td><td>24</td><td>24</td><td>24</td></tr>
</table></td><td>○</td></tr>
<tr><td>13</td><td>みんな食堂の開設支援</td><td>○住民ボランティア等が主体となって子ども食堂を開設する団体に対し、事業助成金の支給等を行い、地域の居場所づくりの推進を図り、地域づくりにつなげるとともに、高齢者の生活機能の維持・向上を図り、高齢者自身が支援の担い手として活動することで地域の介護予防を促進する。
<table>
<tr><th></th><th>2018 実績</th><th>2019 実績</th><th>2020 見込</th></tr>
<tr><td>助成件数(件)</td><td>－</td><td>1</td><td>3</td></tr>
</table>モデル的に事業を開始したところであり、今後実施団体等への周知や支援に努め、事業の浸透を図る。</td><td>△</td></tr>
<tr><td>14</td><td>一般介護予防事業の評価</td><td>○より効果的な介護予防に資する事業展開につなげるため、自主グループ活動等の継続が参加者にもたらす効果についての調査分析や、地域支え合いの家実施団体の事業評価を行った。</td><td>○</td></tr>
<tr><td>15</td><td>自立支援型ケアマネジメント会議</td><td>○高齢者の QOL の向上を目指し、個別事例の検討を通じて、多職種協働による自立支援型のケアマネジメント支援を行う。
<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>2018 実績</th><th>2019 実績</th><th>2020 見込</th></tr>
<tr><td rowspan="2">開催回数(回)</td><td>目標</td><td>24</td><td>24</td><td>24</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>20</td><td>20</td><td>18</td></tr>
</table></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="4">（３）地域ケア会議の推進</td></tr>
<tr><td>16</td><td>地域ケア会議の推進</td><td>(1)専門部会【レベル／市域・事務局／地域総合支援センター】<br>個別ケース検討会議や地域福祉活動等からの地域課題のうち、運営会議において協議すべきと判断された課題について、課題ごとの中核的なメンバーが集まり、各テーマ別に検討する。テーマ別（生活支援・在宅医療介護連携等）に集中的に開催し、課題解決のための調査研究や施策提案等を行っている。<br>(2)まちなかゾーン会議【レベル／中学校区・事務局／地域総合支援センター】<br>地域住民の健康増進を図るため、ヘルスプロモーションの推進に取り組む健康行政部門や保健医療福祉関係者、地域住民組織の代表者等が連携し、地域の健康課題を解決する協働のプラットフォームとして設置する。生活習慣病予防等の健康づくりや歯・口腔の健康づくり、こころの健康づくり等をテーマに検討している。
<table>
<tr><th></th><th>2018 実績</th><th>2019 実績</th><th>2020 見込</th></tr>
<tr><td>会議体開催回数（回）</td><td>317</td><td>379</td><td>381</td></tr>
</table>※ 上記(1)、(2)のほか、個別ケースを検討する地域ケア個別会議の開催回数を含む。</td><td>△</td></tr>
</table>

## （4）在宅医療・介護連携の推進

| | | | |
|---|---|---|---|
| 17 | 在宅医療・介護連携の推進 | ○地域の在宅医療・介護連携を支援する相談窓口を運営するため、地域総合支援センター内に在宅医療・介護の連携を支援する人材を配置し、在宅医療・介護に関わる様々な職種間の連携調整や情報提供等を行っている。<br>○地域の介護支援専門員等の介護職や看護師等の医療職との連携強化を図る多職種連携学習会の運営や、職能団体との意見交換会から出された課題等を解決する地域の医療・介護関係者対象の研修の企画・開催等を行っている。 | ○ |

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 相談件数（件） | 38 | 25 | 30 |
| 多職種連携学習会の開催回数（回） | 3 | 3 | 1 |

## （5）在宅での生活支援

| | | | |
|---|---|---|---|
| 18 | 在宅介護の推進 | ○公共交通機関が利用できない在宅の要介護１以上の高齢者に対し、通院の際に利用できるタクシー利用券を交付している。<br>○在宅寝たきり高齢者や認知症高齢者を自宅で介護する家族におむつなどの介護用品を支給することで身体的、精神的、経済的負担の軽減を図っている。<br>○認知症等により火災予防が必要な高齢者に対し、日常生活用具を給付している。<br>○徘徊行動のある高齢者を介護している家族に居場所検索用端末機を貸与することで、早期発見、事故の防止を図っている。 | ○ |

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 通院支援タクシー利用券の交付数（件） | 1,003 | 980 | 1,100 |
| 介護用品の支給件数（件） | 80 | 100 | 170 |
| 日常生活用具の給付件数（件） | 16 | 9 | 7 |
| 居場所検索用端末機の新規貸与数（名） | 16 | 11 | 20 |

## （6）高齢者の住まいの安定確保

| | | | |
|---|---|---|---|
| 19 | 高齢者に配慮した住まいの確保 | ○地域密着型サービス事業者（地域密着型特別養護老人ホームやグループホーム等）及び混合型特定施設入居者生活介護を行うサービス付き高齢者向け住宅事業者の公募を実施した。またサービス付き高齢者向け住宅に関する情報をホームページで提供している。<br>○公募に対して応募がないなどのため、計画未達成の見込みの施設等がある。施設の整備状況や必要量を適切に見込み、施設整備の検討を進める。<br><br>○虚弱な単身高齢者や高齢者のみの世帯を対象の高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）に居住する高齢者に生活援助員を配置して生活指導や相談、安否確認等を行い、自立生活を営めるよう支援する。（３か所、134 戸） | △ |

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 介護老人福祉施設（床） | 1,120 | 1,120 | 1,120 |
| 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（床） | 87 | 87 | 87 |
| 介護老人保健施設（床） | 596 | 596 | 596 |
| 介護療養型医療施設（床） | 0 | 0 | 0 |
| 認知症対応型共同生活介護（床） | 330 | 330 | 366 |
| 特定施設入居者生活介護（床） | 444 | 524 | 574 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 20 | 住まいへの支援 | ○要介護認定を受けた高齢者に対し、段差の解消などのための住宅改造に係る費用の助成を行うことで、居住する住宅で自立した生活を送ることができるよう支援する。 | ○ |

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 住宅改造助成件数（件） | 49 | 76 | 85 |
| 保険給付適用件数（住宅改修）（件） | 1,405 | 1,462 | 1,500 |

## ２．認知症高齢者や家族への支援の充実

### （１）予防・早期発見の推進

**21　早期発見・早期対応への支援**　○

○2018 年(平成 30 年)9 月より 75 歳以上の高齢者を対象に、認知症チェックシートの提出を促し、認知症の疑いのある人は認知症診断の勧奨および診断費用の助成を行うことで、認知症の早期の気づき・早期対応に繋げる「認知症早期支援事業」を実施している。2019 年(令和元年)９月より 75 歳到達者へ事業案内を個別送付し、普及啓発の強化を図っている。

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 認知症チェックシート提出件数（名） | 1,740 | 1,522 | 1,600 |
| 認知症診断費用助成件数（件） | 27 | 40 | 50 |

**22　認知症自己チェックシートの活用**　○

○№21 記載の「認知症早期支援事業」でチェックシートを活用している。
○チェックシート提出者のうち、「認知症疑い」がある人に対し、対象者の状況を継続的に把握し、各種サービスへ繋げるよう、支援体制の強化を図る。

**23　認知症アセスメントシートの活用**　○

○認知症初期集中支援チームで対応を検討する際に各種シートを活用し、専門職による多角的および客観的な情報収集や現状分析を行い。早期支援につなげている。

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 初期集中支援チーム対応者数（名） | 25 | 16 | 20 |

**24　認知症予防教室の開催**　○

○明石市高齢者福祉月間中に予防講座を開催した。
○№10 記載の「介護予防の普及啓発」において実施している出前講座のテーマのひとつとして認知症予防を取り上げ、申込団体の希望に基づき実施している。

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 予防講座参加者数（名） | 277 | 33 | － |
| 認知症に関する介護予防教室開催回数（回） | 5 | 20 | 5 |

**25　認知症相談（精神保健相談）の実施**　○

○適切な保健福祉サービス、地域支援に繋げるため、認知症や認知症が疑われる高齢者に対し、精神科医師や保健師等のチームによる訪問相談を行っている。

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 精神科医師等のチームによる訪問実施件数（名） | 7 | 2 | 3 |

**26　認知症予防検診との連動**　―

○概ね月２回の頻度で、医師会館にて認知症の早期発見・早期治療を推進するため、認知症や認知症の疑いがある人の検診を実施していたが、認知症診断費等助成事業（早期支援事業）の実施等に伴い、2018 年度(平成 30 年度)をもって事業を廃止した。

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 医師等による検診実施回数（回） | 6 | － | － |
| 医師等による相談者数（名） | 25 | － | － |

**27　認知症啓発**　○

○９月の明石市高齢者福祉月間において、認知症に関する啓発等の取り組みを集中的に実施した。
○地域への認知症理解を深めるため、認知症サポーター養成講座等を開催し、啓発を行っている。

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| オープニングイベント参加者数（名） | 212 | 176 | － |
| 認知症予防講座参加者数（名） | 65 | 33 | － |
| 認知症当事者の方の講演会参加者数（名） | 26 | 19 | － |
| 個人向け認知症サポーター養成講座参加者数（名） | 18 | 48 | － |

**28　認知症ケアパスの活用**　○

○医師会と連携し、医療機関や受けられるサービスなどの認知症に関する情報を記載した「認知症のキホン」を発行、ホームページへも掲載、各相談窓口に設置し、相談の際に活用したり、必要な方へ配付している。　2018 年～2020 年の作成部数：約 15,000 部

### （２）医療・介護体制の充実

**29　認知症ケアパスの活用**　○

○№28 の再掲

**30　認知症初期集中支援チームの活動**　○

○地域総合支援センターに医療職と福祉・介護職のチームを配置するとともに、認知症の人や認知症が疑われる人に早い段階で、複数の専門職が家庭を訪問し、観察評価を行った上で初期支援を行っている。

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| チーム員会議（回） | 10 | 9 | 9 |
| 対応者数（名） | 25 | 16 | 20 |

### （３）地域支援体制の充実

**31　相談体制の充実**　○

○認知症について市民が気軽に相談できるよう、市内６カ所に開設した地域総合支援センター及び認知症総合相談窓口等で介護や医療等に関する相談に対応している。

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 相談件数（件） | 8,347 | 6,245 | 7,300 |

<table>
<tr><td>32</td><td>認知症サポーター、キャラバン・メイトの養成</td><td>○認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を地域で見守る認知症サポーターやその講師役であるキャラバン・メイトを養成している。<br>○広く認知症理解を普及するため、2019 年度(令和元年度)にキャラバン・メイトを中心に立ち上げたプロジェクトチームにてこども向け教材作成に取り組むとともに、小中学校への広報啓発を図った。<br>○認知症サポーター養成講座による市民に対する啓発に努めるとともに、認知症サポーターに対しステップアップ講座を開催し、活動の場を広げるための支援を行っていく。
<table>
<tr><th></th><th>2018 実績</th><th>2019 実績</th><th>2020 見込</th></tr>
<tr><td>認知症サポーター養成開催回数（回）</td><td>39</td><td>66</td><td>100</td></tr>
<tr><td>認知症サポーター養成者数（名）</td><td>733</td><td>1,988</td><td>3,000</td></tr>
<tr><td>認知症サポーターステップアップ講座開催回数（回）</td><td>2</td><td>3</td><td>－</td></tr>
<tr><td>認知症サポーターステップアップ講座受講者数（名）</td><td>44</td><td>66</td><td>－</td></tr>
<tr><td>キャラバン・メイト養成開催回数（回）</td><td>1</td><td>1</td><td>－</td></tr>
<tr><td>キャラバン・メイト養成者数（名）</td><td>30</td><td>38</td><td>－</td></tr>
</table></td><td>○</td></tr>
<tr><td>33</td><td>認知症地域支援推進員の配置</td><td>○認知症施策のコーディネート役、認知症カフェの立ち上げや運営支援、認知症対応力向上のための支援等を行う認知症地域支援推進員を配置した（地域総合支援センター本部に２名配置）。<br>○認知症サポーター養成講座の事務局への支援、認知症カフェの開設コーディネートや認知症ケアパス（認知症のキホン）の作成などに協力している。</td><td>○</td></tr>
<tr><td>34</td><td>市民後見人の養成等</td><td>○社会福祉協議会に後見支援センター事業を委託し、後見・権利擁護の専門相談、支援や、後見制度の広報・啓発、法人後見の受任、市民後見人等の養成や活動支援、関係機関との連携強化による支援体制やネットワークづくりなどを行っている。
<table>
<tr><th></th><th>2018 実績</th><th>2019 実績</th><th>2020 見込</th></tr>
<tr><td>市民後見人の選任件数（件）</td><td>1</td><td>1</td><td>3</td></tr>
<tr><td>相談件数（件）</td><td>9,052</td><td>7,448</td><td>9,900</td></tr>
<tr><td>成年後見の申立支援・受任調整件数（件）</td><td>150</td><td>158</td><td>160</td></tr>
</table></td><td>○</td></tr>
<tr><td colspan="4">（４）見守り・生活支援、家族支援の充実</td></tr>
<tr><td>35</td><td>見守りＳＯＳネットワーク事業との連携</td><td>○高齢者が徘徊した場合に早期発見、保護に繋げるよう、市民に対し社会福祉協議会が実施する見守りＳＯＳネットワーク事業を周知するとともに、徘徊高齢者模擬訓練に参加し、連携の強化に努めている。
<table>
<tr><th></th><th>2018 実績</th><th>2019 実績</th><th>2020 見込</th></tr>
<tr><td>利用登録者（名）</td><td>115</td><td>116</td><td>116</td></tr>
<tr><td>特定登録者（名）</td><td>328</td><td>275</td><td>278</td></tr>
<tr><td>一般協力者（名）</td><td>180</td><td>135</td><td>137</td></tr>
<tr><td>発信メール回数（回）</td><td>8</td><td>4</td><td>－</td></tr>
</table></td><td>○</td></tr>
<tr><td>36</td><td>居場所検索用端末機（ＧＰＳ）の貸出</td><td>○徘徊高齢者の居場所の早期発見、事故防止および家族の負担軽減を図るため、徘徊行動のある認知症高齢者を介護している家族に、居場所検索用端末機(GPS)を貸与している。
<table>
<tr><th></th><th>2018 実績</th><th>2019 実績</th><th>2020 見込</th></tr>
<tr><td>新規貸与数（名）</td><td>16</td><td>11</td><td>20</td></tr>
</table></td><td>○</td></tr>
<tr><td>37</td><td>高齢者見守りネットワークの充実</td><td>○事業活動を通じて高齢者と接する機会の多い配食業者等と協定を結び、高齢者の異変を早期に発見し、住み慣れた地域で安全に安心して生活できるよう、地域での見守り体制の充実を図っている。(協定締結事業者数：18 者)<br>○民生児童委員による見守りをはじめ、健康飲料の配達員による見守り、認知症サポーターやボランティアによるサロンにおける見守り活動など重層的に見守りを行っている。</td><td>○</td></tr>
<tr><td>38</td><td>日常生活用具の給付</td><td>○ひとり暮らし高齢者等の火災を防ぎ、自宅での安全な生活を支援するため、電磁調理器、火災報知器、自動消火器を給付している。
<table>
<tr><th></th><th>2018 実績</th><th>2019 実績</th><th>2020 見込</th></tr>
<tr><td>給付件数（件）</td><td>16</td><td>9</td><td>17</td></tr>
</table></td><td>○</td></tr>
<tr><td>39</td><td>ショートステイの活用</td><td>○認知症の方を介護する家族の負担を軽減するため、家族が急病等やむを得ない事情で介護を継続することが困難な場合に、特別養護老人ホームのショートステイを利用できる環境の整備に向け、関係機関との協議を進めている。</td><td>△</td></tr>
<tr><td>40</td><td>家族介護用品の支給</td><td>○在宅生活を支援するため、在宅で生活する認知症や寝たきり等の介護が必要な高齢者を自宅で介護する家族に介護用品（紙おむつ、尿取りパッド等）を支給し、身体的、経済的負担の軽減を図っている。また、2020 年(令和２年)７月から、利用対象者の拡大（「要介護３以上」）、早期支援につなげることを目的とした見守り支援サービスの付加といった事業拡充を行った。
<table>
<tr><th></th><th>2018 実績</th><th>2019 実績</th><th>2020 見込</th></tr>
<tr><td>給付者数（名）</td><td>80</td><td>100</td><td>170</td></tr>
</table></td><td>○</td></tr>
<tr><td>41</td><td>認知症カフェの推進</td><td>○認知症の方の居場所づくりや家族の介護負担の軽減、地域住民の認知症理解を深め、認知症の方を地域で支えていく体制を築き、認知症の人や家族に優しいまちを目指すために認知症カフェを運営する団体や個人に対し、運営費の一部を助成している。
<table>
<tr><th></th><th>2018 実績</th><th>2019 実績</th><th>2020 見込</th></tr>
<tr><td>助成件数（件）</td><td>8</td><td>7</td><td>7</td></tr>
</table></td><td>○</td></tr>
</table>

| | | | |
|---|---|---|---|
| 42 | 家族介護支援講座の開催 | ○介護負担の軽減を図るため、認知症患者を抱える家族向けに認知症の人への接し方や対応方法等について講座を開催している。（実績は№27 記載の「認知症啓発」と同様。） | ○ |
| 43 | 認知症家族会への支援 | ○認知症の人を介護している家族同士が集まり、介護の体験を話し合うなどの交流を図る場（あった会）に参加し、介護方法や各種相談に対する助言や情報の提供を行っている（月１回開催） | ○ |
| （５）若年性認知症施策の推進 | | | |
| 44 | 若年性認知症の周知・啓発 | ○認知症ケアパス（認知症のキホン）に若年性認知症の人が利用できる制度や相談窓口等の案内を掲載している。<br>○県が担っていた若年性認知症の人への支援については、市としての対応実績が殆どない状態であるが、身近な相談支援窓口として、支援体制の強化を図る必要がある。 | △ |
| 45 | 若年性認知症家族会への支援 | ○若年性認知症家族会の発足、定例会の開催、さらに若年性認知症の人の居場所づくりへの支援も行った。運営において、オレンジサポーターの活動の場の提供にもつなげている。 | ○ |
| 46 | 若年性認知症支援講座の開催 | ○９月の明石市高齢者福祉月間において、家族介護者向けの若年性認知症に対する知識や対応方法などについて学ぶ講座を開催した。 | ○ |
| 47 | 若年性認知症の支援体制の整備 | ○明石市役所の福祉局職員および地域総合支援センター職員を対象に、若年性認知症応対研修を実施（のべ参加者数：109 名）した。<br>○地域総合支援センターに配置している認知症地域支援推進員を中心とした支援により、若年性認知症当事者の居場所づくりが実現した。<br>○福祉局のうち、若年性認知症に関する相談を受ける可能性がある窓口に、相談対応者を配置した。 | ○ |
| （６）地域・官民が連携した支援 | | | |
| 25 | 認知症相談（精神保健相談）の実施（再掲） | | ○ |
| 26 | 認知症予防検診との連動（再掲） | | ― |
| 27 | 認知症啓発（再掲） | | ○ |
| 32 | 認知症サポーター、キャラバン・メイトの養成（再掲） | | ○ |
| 35 | 見守りＳＯＳネットワーク事業との連携（再掲） | | ○ |
| 37 | 高齢者見守りネットワークの充実（再掲） | | ○ |
| 41 | 認知症カフェの推進（再掲） | | ○ |
| （７）介護施設等の整備 | | | |
| 48 | グループホーム等の整備 | ○高齢者が住み慣れた地域で暮らしを続けていけるよう、地域密着型サービスの拡充を行う。<br>○公募に対して応募がないなどのため、計画未達成の見込みの施設等がある。施設の整備状況や必要量を適切に見込み、施設整備の検討を進める。また、定期巡回・随時対応型訪問介護看護についても、頻回訪問による見守り等が必要な利用者や医療ニーズの受け皿の一つとして、引き続き整備を検討する。 | △ |

| | | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|---|
| 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（床） | 目標 | 87 | 145 | 203 |
| | 実績 | 87 | 87 | 87 |
| 認知症対応型共同生活介護（床） | 目標 | 327 | 345 | 363 |
| | 実績 | 330 | 330 | 366 |
| 小規模多機能型居宅介護（か所） | 目標 | 15 | 16 | 17 |
| | 実績 | 14 | 12 | 11 |
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護（か所） | 目標 | 3 | 4 | 5 |
| | 実績 | 4 | 4 | 4 |
| 看護小規模多機能型居宅介護（か所） | 目標 | 3 | 4 | 5 |
| | 実績 | 2 | 4 | 5 |

## ３．権利擁護の取組みの充実

### （１）成年後見人制度の普及促進

**49　成年後見人制度の普及促進**　○

○市内６か所の地域総合支援センターにおいて高齢者の権利擁護に関する相談対応を行っている。また、後見支援センターにおいて、後見・権利擁護の専門相談・専門支援や、後見制度の広報・啓発、法人後見の受任、市民後見人等の養成や活動支援、関係機関との連携強化による支援体制やネットワークづくりなどを行っている。
○身寄りがなく、判断能力が十分でないため財産管理や日常生活上必要な契約行為ができない高齢者に対し、成年後見人等選任の申立て（市長申立て）を行うほか、被後見人が低所得である場合などに、成年後見人に対し報酬の助成を行っている。
○対象者の状態に応じて日常生活自立支援事業の活用を促し、高齢者の自立を支援している。

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 成年後見人報酬助成対象者数（名） | 55 | 79 | 110 |
| 日常生活自立支援事業利用者数（名） | 87 | 80 | 90 |

### （２）高齢者の虐待防止及び早期発見・早期対応

**50　高齢者虐待の防止及び早期発見・早期対応**　○

○高齢者虐待が疑われる場合の虐待通報窓口や、介護に関する悩みを相談できる窓口を市役所のほか地域総合支援センターに設置。また、夜間・休日の緊急相談専用電話を開設し、早期発見・早期対応につながる環境整備を図った。また医師会、司法書士会、警察等関係団体,地域の介護サービス事業者、民生児童委員などと連携し、見守り体制の充実、虐待防止を図っている。

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 虐待通報対応件数（件） | 98 | 86 | 100 |

**51　高齢者虐待に対する啓発と対応力の向上**　○

○高齢者虐待が疑われる際に、早期に相談・通報してもらえるよう、パンフレットを作成し、相談窓口等の周知や高齢者虐待に対する啓発を行っている。
○在宅における高齢者虐待事案に対応する際に、複合多問題を解決する必要があることから、地域総合支援センターにおいて、多機関と合同で対応力向上のための研修を定期的（年１回）に実施し、スキルアップおよび多職種間での連携強化を図っている。

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 高齢者虐待防止研修参加者人数（名） | 112 | 119 | 120 |

## ４．災害時要配慮者支援の推進

### （１）災害に備えた高齢者に対する支援体制の推進

**52　避難行動要支援者支援体制の整備**　△

○災害時に支援の必要な高齢者や障害者の情報を把握するため、ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者、障害を有する高齢者などのうち、未登録の人に対しアンケートを送付するなどして避難行動要支援者台帳への登録を促進している。また、台帳登録情報を基に、安否確認や避難誘導、避難生活支援等を行うための基礎となる避難行動要支援者名簿を作成し、提供希望があれば、平常時から自治会や町内会、自主防災組織へ提供し、要支援者支援体制の整備を図っているが、地域への更なる啓発を行う必要がある。

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 避難行動要支援者台帳登録者数（名） | 7,984 | 8,023 | 8,300 |
| 避難行動要支援者名簿（名）（非同意含む） | 8,502 | 8,602 | 8,700 |
| 避難行動要支援者名簿提供実績（提供先） | 193 | 206 | 210 |

## ５．介護保険サービスの充実

### （１）在宅サービスの促進

**53　在宅サービスの確保**　○

○地域の実情に応じて、在宅介護サービスを提供する事業者の指定管理を行っている。
・2020 年(令和２年)３月 31 日時点及び同年８月１日現在の居宅サービスの指定数（地域密着型サービス・総合事業を除く）

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 |
|---|---|---|---|
| 訪問介護 | 96 | 95 | 94 |
| 訪問入浴介護 | 4 | 5 | 5 |
| 訪問看護 | 33 | 40 | 41 |
| 訪問リハビリテーション | 2 | 2 | 2 |
| 通所介護 | 48 | 45 | 46 |
| 通所リハビリテーション | 6 | 6 | 6 |
| 福祉用具貸与 | 15 | 14 | 15 |
| 短期入所生活介護 | 21 | 21 | 21 |
| 短期入所療養介護 | 6 | 6 | 6 |
| 居宅療養管理指導 | 1 | 1 | 1 |
| 福祉用具販売 | 16 | 15 | 16 |
| 居宅介護支援 | 100 | 93 | 95 |

**54　共生型サービス**　○

○障害者の方が 65 歳になった時に、それまで利用してきた障害福祉サービス事業所を引き続き介護保険サービス事業所として利用できるよう進める。

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 |
|---|---|---|---|
| 通所介護の共生サービス事業所開設（か所） | 1 | 1 | 2 |
| 訪問介護の共生サービス事業所開設（か所） | 0 | 1 | 1 |
| 短期入所生活介護の共生サービス事業所開設（か所） | 0 | 0 | 0 |

**55　地域密着型サービスの確保**　△

○№48 の再掲

**56　地域密着型サービス運営委員会の運営**　○

○地域密着型サービスの公正かつ透明性の高い制度運営を確保する為、委員会を開催し、サービスの適正な運営に向けて協議する。

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 委員会開催回数（回） | 3 | 4 | 3 |

### （２）施設サービスの充実

**57　平成 37 年(2025 年)の推計必要量を踏まえた介護施設の整備**　△

○第７期介護保険計画において、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年における施設サービスの必要量を推計し、計画的に整備する。
・2020 年(令和２年)３月末日時点の介護保険施設及び居住系サービス等における整備計画と整備見込
○公募に対して応募がないなどのため、計画未達成の見込みの施設等がある。施設の整備状況や必要量を適切に見込み、施設整備の検討を進める。

| | | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|---|
| 介護老人福祉施設（床） | 目標 | 1,120 | 1,120 | 1,120 |
| | 実績 | 1,120 | 1,120 | 1,120 |
| 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（床） | 目標 | 87 | 145 | 203 |
| | 実績 | 87 | 87 | 87 |
| 介護老人保健施設（床） | 目標 | 619 | 619 | 619 |
| | 実績 | 596 | 596 | 596 |
| 介護療養型医療施設（床） | 目標 | 32 | 32 | 32 |
| | 実績 | 0 | 0 | 0 |
| 認知症対応型共同生活介護（床） | 目標 | 327 | 345 | 363 |
| | 実績 | 330 | 330 | 366 |
| 特定施設入居者生活介護（床） | 目標 | 444 | 524 | 574 |
| | 実績 | 444 | 524 | 574 |
| 小規模多機能型居宅介護（事業所数） | 目標 | 15 | 16 | 17 |
| | 実績 | 14 | 12 | 11 |
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護（事業所数） | 目標 | 3 | 4 | 5 |
| | 実績 | 4 | 4 | 4 |
| 看護小規模多機能型居宅介護（事業所数） | 目標 | 3 | 4 | 5 |
| | 実績 | 2 | 4 | 5 |

**58　新たな介護保険施設(介護医療院)の創設**　―

○市内に２か所あった介護療養型医療施設がともに 2018 年(平成 30 年)３月 31 日付で廃止されたため、介護医療院への転換はなかった。

## （３）介護保険サービスの質の向上

### 59 事業者への適切な指導・監査の実施

○2018 年(平成 30 年)４月から中核市への移行に伴い、介護老人福祉施設などの事業者や施設等に対する指定や指導権限が移譲されたことから、介護給付費等対象サービスの質を確保するため、実地指導を行っている。

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 実地指導を行った事業所数（か所） | 45 | 47 | 36 |

○

### 60 制度の周知、啓発と苦情への対応

○介護等が必要となった際に円滑なサービス利用につながるよう、また、制度への理解を深めてもらえるよう、パンフレットの配布や出前講座を開催し、利用者のサービスの選択を支援する。
○介護の日イベント（2019 年(令和元年)11 月８日あかし市民広場にて開催）において明石市保健福祉施設協会と協力し、介護保険制度の周知を実施した。

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 介護保険パンフレット作成部数（部） | 20,000 | 10,000 | 3,000 |
| 出前講座（回） | 11 | 10 | 0 |

○

### 61 ケアマネジャーへの支援

○介護報酬の改定等についての理解を促進し適正な介護給付を図るため、明石市サービス事業者連絡会居宅介護支援事業者部会と懇談会を実施
○№.４に記載の包括的・継続的ケアマネジメント支援を実施することにより、いわゆる困難事例を抱えたケアマネジャーに対する相談支援や、ケアマネジャー間の連携促進を図っている。

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 懇談会実施（回） | 2 | 3 | 2 |
| 介護支援専門員からの相談件数（件） | 5,089 | 5,439 | 5,500 |
| ケアマネジメント研修会の開催（回） | － | 2 | 2 |

○

### 62 ふれあい介護相談員の派遣

○毎月１回、介護老人福祉施設や介護老人保健施設等にふれあい介護相談員を派遣し、施設入居者の話や相談等を受けている。

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 相談員数（名） | 16 | 13 | 13 |
| 対象施設数（施設） | 46 | 46 | 46 |
| 訪問回数（回） | 813 | 470 | 0 |

○

## （４）介護給付適正化への取組みと目標

### 63 適正な要支援・要介護認定の実施

○適切かつ公平な要介護認定を行うため、市調査員、居宅介護支援事業所及び個人委託の介護支援専門員が実施した認定調査実施後の調査票の内容について、市。職員が全件検収を実施している。また、認定調査員全体の技術力向上を目的として、県が実施する調査員研修への参加の呼び掛けや、市独自に認定調査員向けの従事者説明会を実施した。

| | | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|---|
| 調査票検収状況(%) | 目標 | 100 | 100 | 100 |
| | 実績 | 100 | 100 | 100 |

○

### 64 ケアプランの点検

○2019 年度(令和元年度)からは、外部委託を開始した。有資格者の外部講師と相談し、対象者を抽出。書面による点検後、事業所・講師・市の三者で面接（初回・フォロー）を行っている。事務職員のみで行っていた時より点検件数は増加し、質も向上した。

| | | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|---|
| 面接による点検（件） | 目標 | 20 | 20 | 20 |
| | 実績 | 11 | 60 | 60 |

○

### 65 縦覧点検

○国保連合会から送付される各種帳票等の点検を行うことで、請求内容の誤りを発見し、事業所に対して適正な請求を促した。

| | | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|---|
| 縦覧点検回数（件） | 目標 | 55 | 55 | 55 |
| | 実績 | 76 | 57 | 55 |

○

### 66 医療情報との突合

○国保連合会から送付される介護保険と医療保険の利用状況を確認し、入院中の介護保険利用など不適切な請求を行っている可能性のある事業所に対して確認・訂正を促した。

| | | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|---|
| 医療給付情報突合（件） | 目標 | 35 | 35 | 35 |
| | 実績 | 93 | 89 | 35 |

○

### 67 介護給付費通知書の発送

○介護サービスを利用している被保険者に、自身がどのようなサービスを受け、どのくらいの費用が発生しているかを通知することで、不正請求の防止やサービス費用の理解を促進している。(毎年９月と２月に実施)

○

### 68 住宅改修の点検

○改修が必要となる理由書や内容、図面、改修前写真及び見積書等の書類による事前審査と、改修後の完成写真や図面等の書類による事後審査を全件実施した。

| | | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|---|
| 書類審査（%） | 目標 | 100 | 100 | 100 |
| | 実績 | 100 | 100 | 100 |
| 疑義が生じた改修の現地調査（%） | 目標 | 100 | 100 | 100 |
| | 実績 | 100 | 100 | 100 |

○

<table>
<tr><td colspan="4">（５）介護人材の確保</td></tr>
<tr><td>69</td><td>多様な人材の参入の促進</td><td>○2019 年(令和元年)９月から介護分野資格取得支援及び高齢者の介護分野就労支援助成金交付を開始した。介護人材の確保や高齢者の生きがいづくりを目的とし、実務者研修や初任者研修の受講費用を一部助成（65 歳以上の者には上乗せ）する。<br>○2019 年(令和元年)９月から高齢者の介護職就職奨励給付金交付を開始した。高齢者の生きがいづくり及び介護人材の確保を目的とし、新たに介護事業所に就職した者や介護関係の資格を取得した者に対して奨励金を給付する。<br>○2019 年(令和元年)９月に行われた高齢者月間のオープニングイベントにおいて、明石市保健福祉施設協会と連携し、上記取組の周知（チラシ配布）を実施。<br>○介護人材確保にかかる取り組みについての情報提供を目的としたページを明石市ホームページ内に作成。
<table>
<tr><td></td><td>2018 実績</td><td>2019 実績</td><td>2020 見込</td></tr>
<tr><td>研修助成件数（件）</td><td>－</td><td>22</td><td>20</td></tr>
<tr><td>奨励金給付件数（件）</td><td>－</td><td>6</td><td>20</td></tr>
</table></td><td>○</td></tr>
<tr><td>70</td><td>県など関係機関と連携した取組み</td><td>○№69 と同様</td><td>○</td></tr>
<tr><td>71</td><td>指導や監査の実施</td><td>○№59 の再掲</td><td>○</td></tr>
</table>

## ６．高齢者の活躍できる場の充実

### （１）生きがいづくり・社会参画の推進

| | | | |
|---|---|---|---|
| 72 | 生きがいづくりや社会参画推進のための情報提供 | ○高齢者が安心して暮らせる「やさしい地域共生社会 あかし」を目指し、2018 年度(平成 30 年度)から、９月を「明石市高齢者福祉月間」と設定している。また高齢者福祉月間オープニングイベントを開催し、講演会や高年クラブ、シルバー人材センターのＰＲブースの設置、高年福祉関係事業のチラシの配布などにより高齢者の生きがいづくりや社会参画推進のための情報提供などを行った。 | ○ |
| 73 | 高年クラブ活動の支援 | ○2019 年度(令和元年度)から、単位高年クラブへの活動助成金を拡充し、さらなる活動の充実支援につなげた。<br>○高齢者福祉月間オープニングイベントにおいて、長年高年クラブ活動に貢献された方に対してきんもくせい賞の表彰を実施し、高年クラブ活動の活性化及び会員増強の取り組みを促進した。<br>[表1] | ○ |
| 74 | 生きがい促進や就労の支援 | ○年に２回開催される高齢者スポーツ大会の開催に対する支援や敬老優待乗車券の交付などの各種いきがい事業を継続した。2019 年度(令和元年度)から、敬老優待乗車券については、たこバスの運賃を無料に、寿タクシー券を 2,000 円分から 4,000 円分に増額して、高齢者の外出促進支援を図った。<br>○シルバーフェスティバルの開催等に対する支援を行い、シルバー人材センターの加入、就業促進につなげた。<br>[表2] | ○ |
| 75 | 学習、教養活動、健康増進活動の機会の提供 | ○あかねが丘学園やコミセン高齢者大学、シニアカレッジにおいて、良質な学習機会の提供を引き続き行った。また、高齢者ふれあいの里において、健康体操や健康相談を実施するなど、高齢者の健康増進やレクリエーションの場を引き続き提供した。<br>[表3]<br>（※1）新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止<br>（※2）新型コロナウイルス感染拡大防止のため、閉館期間あり | ○ |

[表1]

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 単位高年クラブ助成数（団体） | 185 | 180 | 180 |
| 単位高年クラブ会員数（名） | 8,629 | 8,250 | 8,000 |
| 単位高年クラブ助成額（円） | 17,784,000 | 21,465,000 | 20,500,000 |

[表2]

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 敬老優待乗車券交付数（名） | 50,951 | 54,701 | 56,000 |
| シルバー人材センター会員数（名） | 1,414 | 1,402 | 1,500 |

[表3]

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 高齢者大学の修了者数（名） | 994 | 983 | 0（※1） |
| ふれあいの里利用者数（名） | 135,058 | 117,074（※2） | 100,000（※2） |

## ７．健康づくりの推進

### 76 健康づくりの支援

高齢者を含む明石市民を対象に次の事業を実施している。
○校区まちづくり協議会や自治会等が主催するイベントにて、健康に関する展示や各種測定、クイズ等を実施
○正しい健康づくりの情報提供
○新あかし健康プラン 21 ホームページ・広報あかしにて食育や運動の情報掲載、健康づくりや運動・栄養に関する各種チラシの配布
○健康づくりに取り組みやすい環境整備
応援メッセージ等の階段バナーを作成し、ＪＲ大久保駅、ＪＲ魚住駅、天文科学館、生涯学習センター、中央体育館に設置
○健康チェック・運動継続・仲間づくりの機会
○ＳＰイベント
○減塩や食生活バランスなど食育や栄養についての情報提供を実施

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| イベント実施回数（回） | 26 | 16 | 1 |
| イベント参加者数（名） | 4,956 | 2,957 | 50 |
| 栄養、運動、健康管理等に関する出前講座の実施回数（回） | 45 | 44 | 8 |
| 栄養、運動、健康管理等に関する出前講座の参加者数（名） | 1,044 | 1,362 | 36 |
| ソムリエプロジェクト 21 実施回数（回） | 47 | 44 | 36 |
| ソムリエプロジェクト 21 参加者数（名） | 837 | 751 | 612 |
| 運動や栄養、歯やたばこ等についての展示や実技の実施回数（回） | 1 | 1 | 0 |
| 運動や栄養、歯やたばこ等についての展示や実技の参加者数（名） | 126 | 114 | 0 |
| 減塩や食生活バランスなど食育や栄養についての情報提供の実施回数（回） | 15 | 16 | 11 |
| 減塩や食生活バランスなど食育や栄養についての情報提供の参加者数（名） | 1,338 | 1,200 | 110 |

○

### 77 各種健診の受診やかかりつけ医を持つことの重要性の周知

○出前講座にて健診受診の必要性や生活習慣病予防等についての講義を実施
○健診制度等について、エプロンシアターや話題提供、受診の呼びかけなどを行うＡＫＰ（明石市健診受診率向上プロジェクト）を実施
○出前講座『いざというときの「夜間・休日の医療体制」』にて夜間・休日でも受診できる医療機関があることを周知するとともにかかりつけ医を持つことの重要性を周知

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 健診受診や生活習慣病予防等の出前講座の実施回数（回） | 2 | 2 | 2 |
| 健診受診や生活習慣病予防等の出前講座の参加者数（名） | 42 | 43 | 20 |
| ＡＫＰ（明石市健診受診率向上プロジェクト）の実施回数（回） | 3 | 3 | 0 |
| ＡＫＰ（明石市健診受診率向上プロジェクト）の参加者数（名） | 78 | 94 | 0 |
| 出前講座『いざというときの「夜間・休日の医療体制」』の実施回数（回） | 7 | 5 | 0 |

○

## ８．地域づくりの支援

### （１）生活支援体制整備の推進

| | | | |
|---|---|---|---|
| 78 | 生活支援体制整備事業 | ○地域総合支援センターに配置する生活支援コーディネーターが中心となり、協議体等と協働しながら、地域の高齢者の支援ニーズと地域資源の状況を把握した上で、それらの見える化や問題提起や、地縁団体等多様な主体への協力依頼等の働きかけ、関係者のネットワーク化、目指す地域の姿や方針の共有を行うとともに、地域の実情に応じた生活支援の担い手の養成や地域資源の開発など生活支援体制の基盤整備に向けた取組を行っている。 | ○ |
| 79 | 高齢者生活支援サービスネットワーク事業 | ○日常生活において支援を必要とする高齢者等に対し、生活支援サービスの提供が可能な協力団体を登録し、協力団体の情報を市のホームページに掲載し、地域総合支援センター等へ情報提供することにより、円滑なサービス利用に繋げ、地域で支援を必要とする高齢者の課題解決を図っている。<br>○2020 年(令和２年)７月時点での登録団体は 32 件となっており、No78 に記載の生活支援体制整備事業等により地域資源を把握し、それらの団体に登録を呼びかけるなどの取組が必要である。 | △ |

| | | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|---|
| 登録団体数（団体） | 目標 | 30 | 40 | 50 |
| | 実績 | 31 | 31 | 32 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 80 | 地域支え合いの家の設置 | ○地域における支え合い活動の主たるパイロット地域として３校区を選定し、それぞれ地域のボランティア団体に事業を委託し、総合相談支援と居場所づくり、地域の仕組みづくりを有機的に連携させながら、一体的に提供を行う。 | ○ |

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 地域支え合いの家の設置数 | 3 | 3 | 3 |

### （２）見守り体制の充実

| | | | |
|---|---|---|---|
| 81 | 見守りネットワークの充実 | ○民生児童委員による見守りをはじめ、ボランティアによるサロン、社会福祉協議会による徘徊見守りＳＯＳネットワーク事業や認知症サポーターなどにより重層的に見守りを行っている。 | ○ |

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| 協定締結事業者数（者） | 18 | 18 | 18 |
| 安否確認通報件数 | 166 | 187 | － |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 82 | 高齢者の暮らしを支える施策の充実 | ○ひとり暮らし台帳の登録、健康飲料の配布による見守りや福祉電話、緊急通報装置の貸し出し、ふれあい会食などを推進し、ひとり暮らし高齢者が安心して暮らせるよう施策を実施している。<br>○高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）で、生活援助員が入居者の安否確認や緊急時の対応を行うことで、ひとり暮らし高齢者が安心して暮らせるように支援している。（３か所、134 戸）<br>○65 歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、コミセンで中学校給食を提供し、孤食と閉じこもりを防止するみんなの給食を 2018 年度(平成 30 年度)より実施している。 | ○ |

| | 2018 実績 | 2019 実績 | 2020 見込 |
|---|---|---|---|
| ひとり暮らし台帳登録者数（名） | 8,310 | 8,601 | 8,900 |
| 健康飲料の配布（名） | 4,249 | 4,304 | 4,400 |
| 福祉電話利用者数（名） | 40 | 42 | 49 |
| 緊急通報システム利用者数（名） | 748 | 707 | 750 |
| みんなの給食参加者数（名） | － | 760 | |